

郡司イチさん(吉野辺)100歳のお誕生日おめでとうございます

百歳賀寿贈呈式



◁イチさんと親族の皆さん
▽町長から賀寿を贈呈されるイチさん



郡司イチさん(吉野辺)が8月17日、めでたく満100歳の誕生日を迎えられ、親族や関係者の同席の下、百歳賀寿贈呈式が行われました。

贈呈式では、町長から賀寿と記念品が贈呈され、福島県からは県知事賀寿ならびに木杯が贈られました。

このほか、町社会福祉協議会と家族から花束が贈呈され、長寿を祝いました。

テレビを見るのが大好きというイチさんの長生きの秘訣は「我慢せず、やりたいようにやる」ことだそうです。いつまでもお幸せに長生きされますよう心からお祈りします。

現在、小野町在住の100歳以上の方は、イチさんを含め11人となりました。

戦没者をしのび 恒久平和への誓いを新たに 小野町戦没者追悼式



追悼式の様子

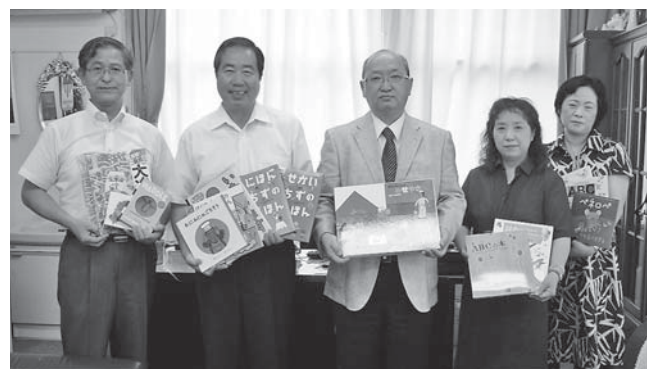
町主催、小野町遺族会共催による小野町戦没者追悼式が8月9日、勤労青少年ホームで開かれました。式典には、戦没者の遺族、議会議員、行政区長、民生委員など約80人が参列しました。

式典では、参列者全員で国歌を斉唱し、黙とうを行い、町長から「恒久平和の実現と大震災からの復興に向けての努力を続け、町民の皆さんが安心して心豊かに生活できるまちづくりのため、全力を尽くしていくことを誓います」と式辞がありました。また来賓を代表して、村上議会議長、長久保喜伸小野町遺族会会長が追悼の言葉を述べ、参列者全員で戦没者をしのびながら菊の花を献花して、恒久平和を祈りました。

また遺族代表の榊田忠夫さん(中通)から、幼くして戦争で父親を失った体験や平和への思いについて、あいさつがありました。

絵本から豊かな心を育てよう

石塚幼児文庫贈呈式



町長室を訪れた石塚尋朗院長(中央)とミフユプランナー(右)

「石塚幼児文庫」の贈呈式が8月3日、町長室で行われました。

これは、石塚医院(石塚尋朗院長)から、子どもたちの豊かな心が育つようにと毎年町内全幼児施設に絵本を寄贈していただいているものです。

今年度は、英語や日本語の絵本を57冊寄贈していただきました。

絵本はさっそく各施設に届けられ、子どもたちは興味のある絵本を手にとったり、読み聞かせの時間に先生に読んでもらったりして絵本の世界を楽しんでいます。

また6月には小野中学校にも65冊の図書を寄贈していただきました。

このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。